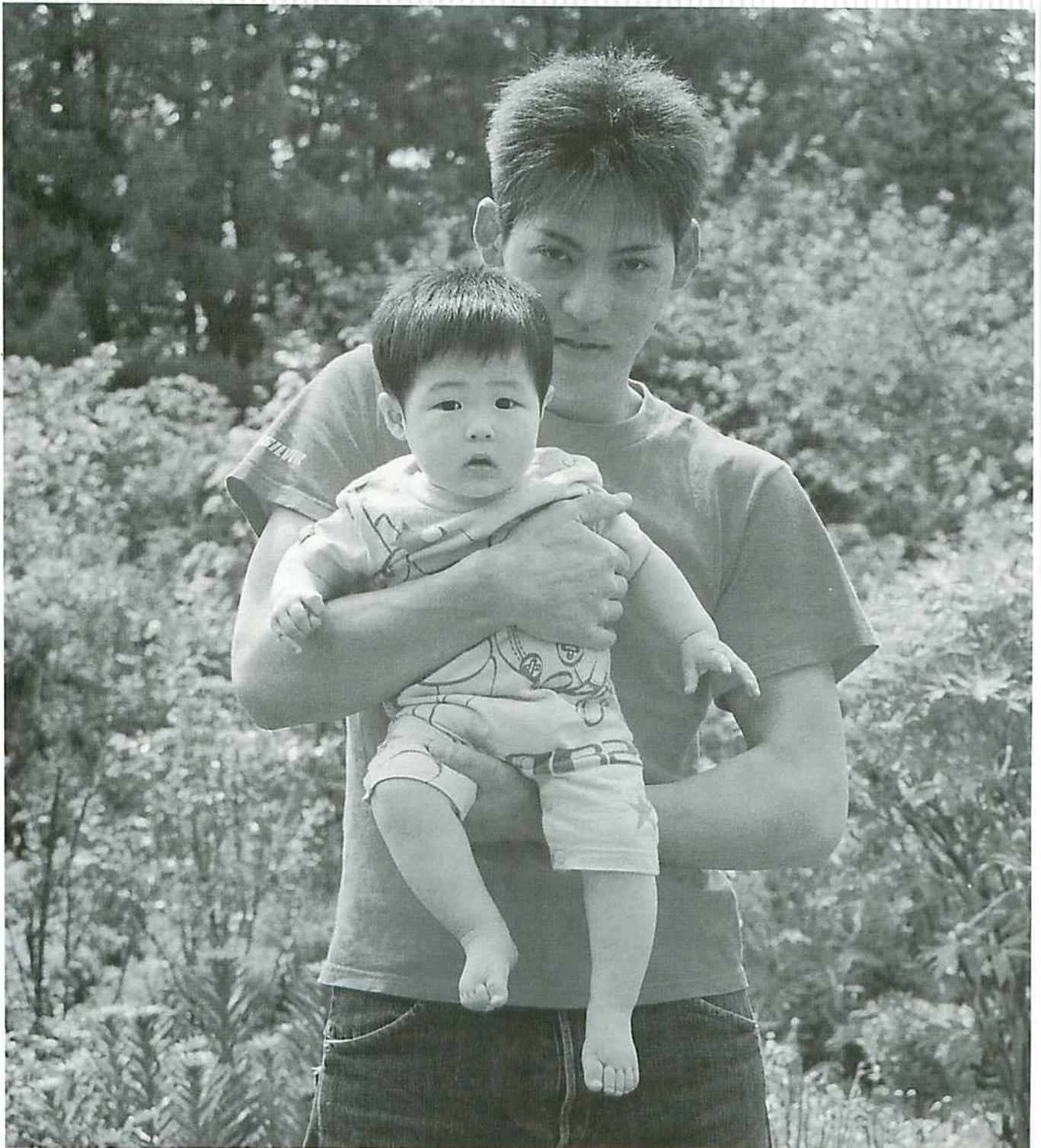


あなたとJAをむすぶ情報誌

なかしべつ

2003
7月
No.343

「規模を拡大し、乳質を良くすること」と高嶋さん。





議長のエ氏(左)、千葉氏(右)

組合員の経営安定・生活向上 に更なる努力で農協を運営。

平成15年6月10日、第56回中標津町農協通常総会が寿宴を会場に、出席組合員数216人、(本人出席116人、書面及び代理出席100人)で開催されました。

農繁期を前に多忙な時期にもかかわらず、第五十六回通常総会が多くの組合員の出席のもとに開催されました。

今回は武佐地区の林文雄氏、開陽地区の千葉清一氏両名の議長による執り進めにより議事に入りました。

特別議決事項(出席者の三分の二以上の賛成を要する)である議案第五号「役員を選任について」、議案第九号「定款の一部変更について」が先に上程されました。これは中司元副組合長の退任による理事の欠員と、農協法の改正により信用事業を行うJAに常勤理事三人体制が義務づけられたことに対応する選任が必要となったもので、選挙制から選任制に改正されて初めての役員選出でした。

組合員理事には武佐の清原賢一氏、常勤理事は本組合において職員兼務理事による暫定措置を活用したことから職員より参事乾信、管理部長西村聖一の選任議案が上程されました。また、「定款の変更については、すでに就任している役員と補欠選任された役員との任期を統一させるもので、いずれも満場一致で可決されました。

引き続き第一号議案「平成十四年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び附属明細書の承認に



各地区ごとの受付

生産活動・環境対応など消費者を重視した十分な配慮を。

ついて」が上程されました。当初BSEによる肉牛センター事業への影響は深刻なものを想定しておりましたが、个体価格や枝肉価格の回復により計画以上の好決算となり、当期剰余金一億五百三十二万円を計上することができ

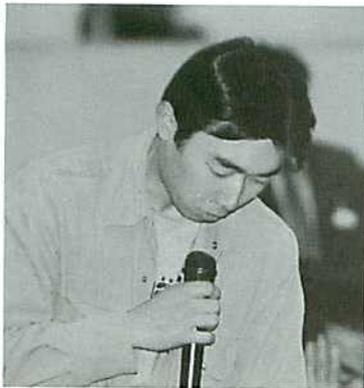
JA中標津町農業協同組合第56回



質疑に立つ太田氏



質疑に立つ白柴氏



質疑に立つ中司氏



質疑に立つ長瀬氏



たことについて乾参事が簡潔に説明した後、代表監事より全てにおいて適正である旨の監査報告を受けました。

第二号議案「平成十五年度事業計画の設定について」乳質への取り組みや、ふん尿の利活用と環境対策、消費者の信頼を高めるトレーサビリティシステムの導入、自己資本比率・固定比率の向上を図るために自己資本の増強に努めることなどの提案をいたしました。

このほか第八号議案まで慎重な審議が行われ、全ての議案が全会一致で承認され満場の拍手をもって閉じられました。

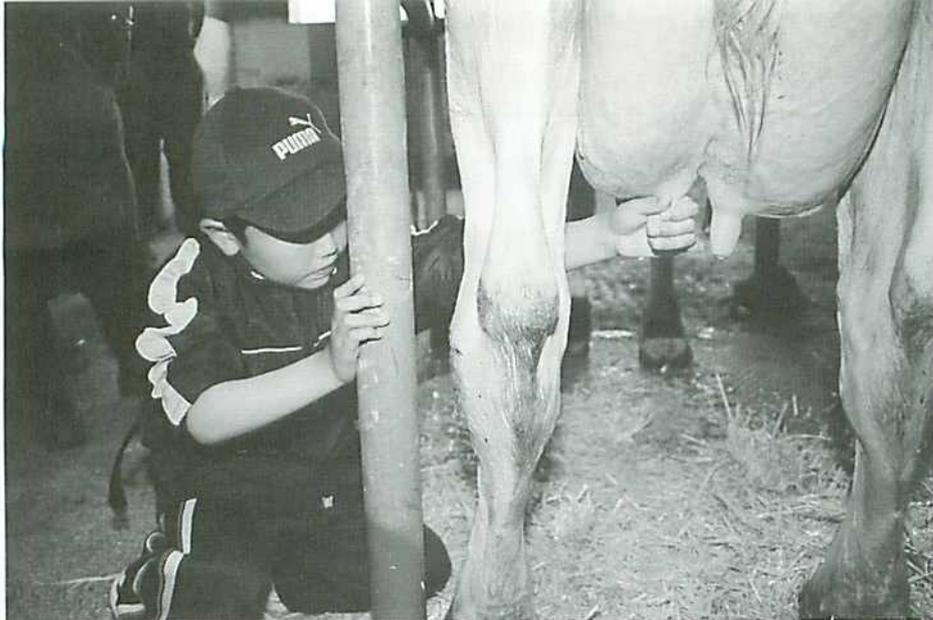
本年度も農協を取り巻く情勢は大きく変わろうとしておりますが、必要な情報を適宜提供し、適切な対応に努め、消費者を重視する生産活動や環境対応への配慮を十分につくし、組合員の皆様の経営安定と生活向上が農協の使命であり事業の目的であることを役員一同肝に銘じ、今後ともさらなる努力



をもって農協運営にあたってまいりたいと組合長が挨拶を述べ、閉会されました。

六月十三日(金)、ホクレン根室地区家畜市場にて、平成十五年度中標津町農協総合共進会が開催されました。

中標津町農協総合共進会



搾乳・哺育・乗馬を体験、 「酪農」をより身近なものに。



五月頃から干ばつで当日の雨は農家には恵みの雨でしたが、共進会には最悪のコンディションとなりました。去年から取り組みが始まった、酪農畜産業に対する親しみ・理解を深めてもらう為のアトラクションも同時開催されました。

昨年同様、丸山小学校三年生生徒五十八人を招待し、搾乳・哺育・乗馬、そして新たに今年度から企画した地産地消(食肉の安全・安心をPR)として、和牛肉の試食体験などを行い、参加した生徒達は直に牛に触れて「子牛かわいい」「牛のお乳って温かい」「牛肉すごくおいしい」など、目に飛び込むもの全てが新鮮で、充実したアトラクションとなりました。

乳牛の質の高さを内外にアピール。 第33回 中標津町農協ホルスタイン共進会

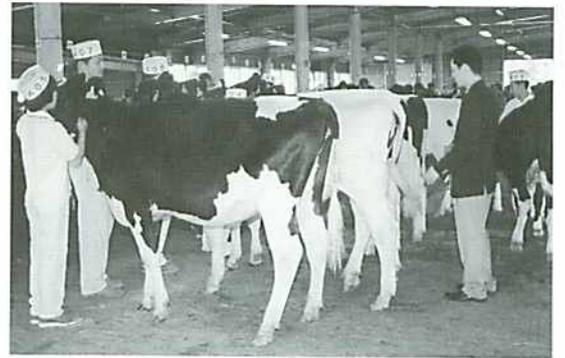
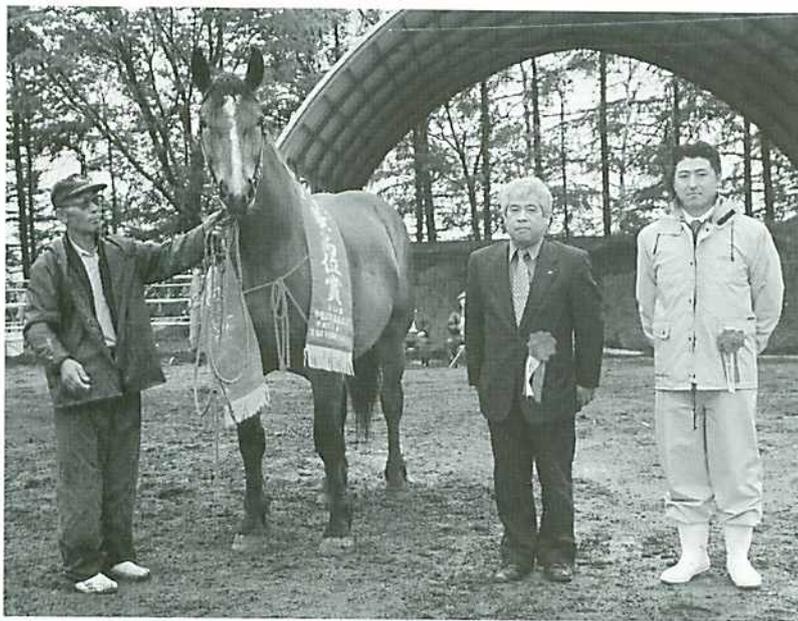


出陳頭数は前年度並みの六十七頭ではありましたが、デリーイ・キャラクターに富んだ優秀な乳牛が集まり、中標津ホルスタインの質の高さを内外にアピールしてしました。

審査員には、全道でもトップレベルのブリーダー・福屋栄人氏(恵庭市酪農家)があたり、スピーディーかつ的確なジャッ

ジが執り行われました。また、デリーイ・プリンセスには加藤麗美さん(管理電算課・一木千恵美さん(経営相談課)があたり、ショウに花を添えました。

なお、審査の結果シニアチャンピオンには、佐々木昭雄さん出陳のアイースト スタビュー ロイリンデイ号が。ジュニアチャンピオンには、福村稔さん出陳のハピイースト カーネーション シス ラバー号が選ばれ、ベストアダージェンピオンには、櫻井幸一さん出陳のチエリーヒル ジャッキー ミックス パイン号がそれぞれ栄誉に輝きました。



愛馬の最高位を競う。 第14回種馬共進会

第十四回を迎える種馬共進会が開催されました。当日は、あいにくの雨にもかかわらず二十七頭の出陳があり、最高位が競われました。

審査員には、斉藤晃一氏（釧路農協連畜産課長）を迎え、第一部一搬馬から第五部ポニー種まで、厳選された審査が行われました。今年度は、一搬馬二部（二才）より共栄栄号（所有者・若森拓栄氏）が荣誉に輝きました。

各部1等入賞馬

第一部（一搬馬1才）	千里姫	出陳者	杉岡正美
第二部（一搬馬2才）	共栄栄	"	若森拓栄
第三部（一搬馬3才以上）	エンジュホマレ	"	延寿武好一
第四部（和種馬）	第一竜花	"	藤田誠一
第五部（ポニー）	ヒロコ	"	藤田誠一

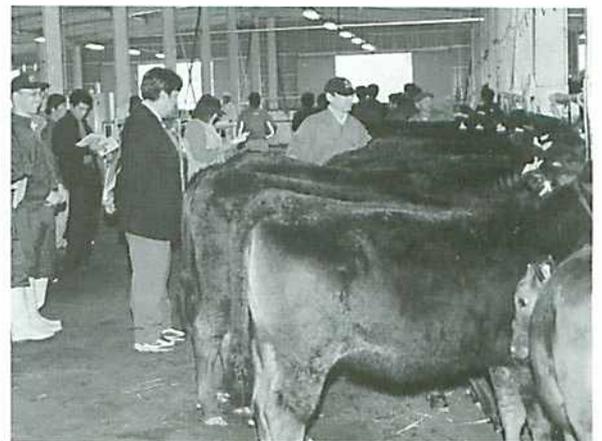
資質が向上し、 改良の成果が実る。 第5回黒毛和種共進会

第五回目を迎えた黒毛和種共進会が盛会に開催されました。

審査員には、北根室地区農業改良普及センター・白取英憲氏により、三部門の二十一頭が黒毛和種としての発育ステータス・各部位のバランス・資質など重点に審査されました。年々資質が向上され、改良の成果が現われていました。

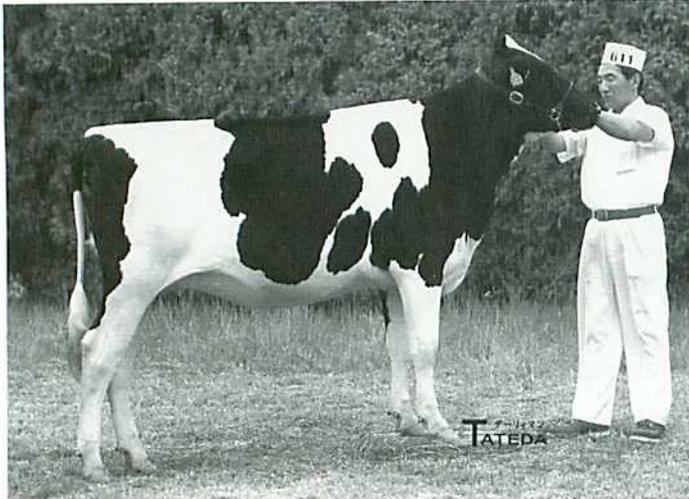
荣誉に輝く各部優秀牛

- 一部（雄） 国福165 横田国雄
- 二部（雌） かえて 山崎隆
- 三部（雌） まりこ 山崎隆

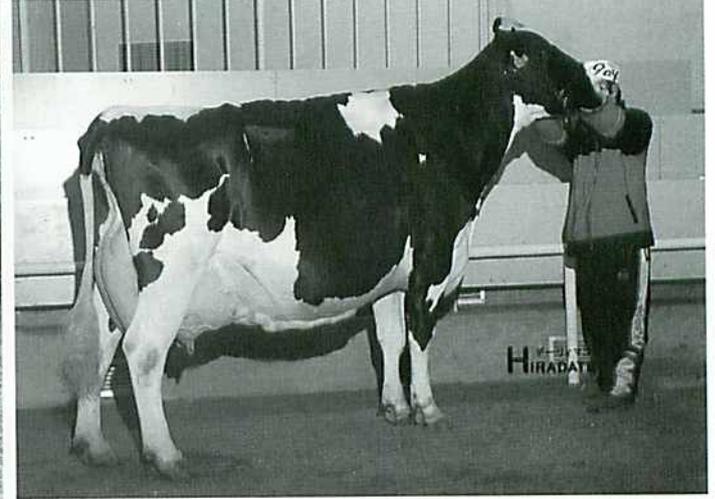


第33回 中標津町農協ホルスタイン共進会

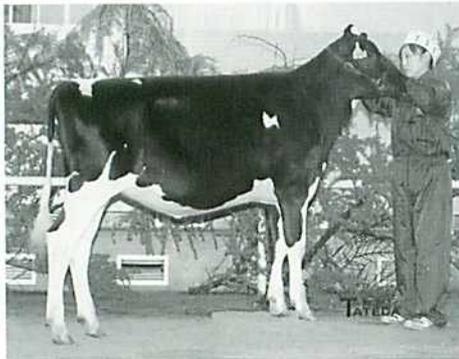
チャンピオン牛及び1等1席入賞牛



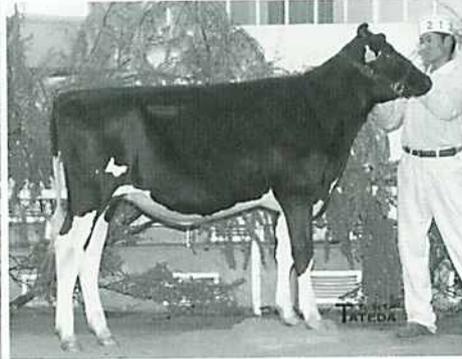
ジュニアチャンピオン 第5部 福村 稔
ハビイースト カーネーション シス ラバー



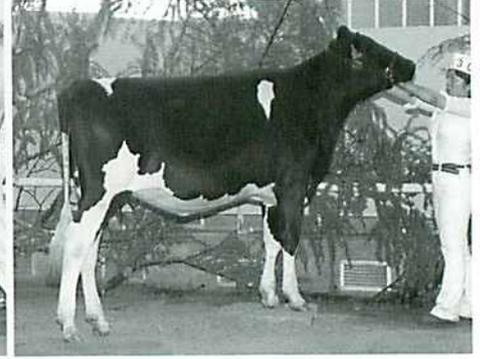
シニアチャンピオン 第10部 佐々木昭雄
アースイースト スダビユー ロイ リンデイ



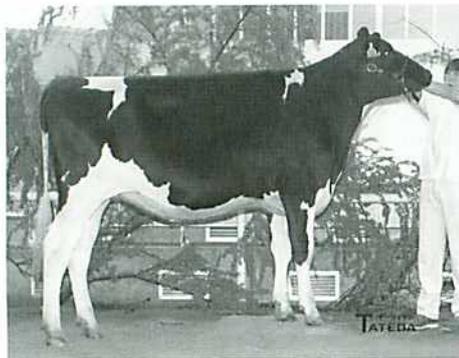
第1部 佐々木昭雄
アースイースト イーグル サヤカ ET



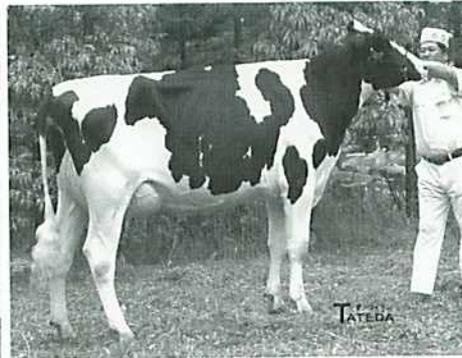
第2部 福村 稔
ハビイースト マラソン ベツシー ラブラブ



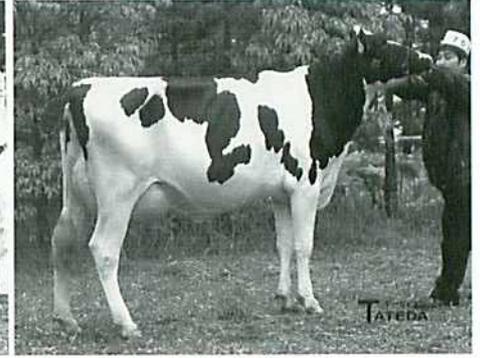
第3部 久保 剛
エクセルシア RD パツシヨン



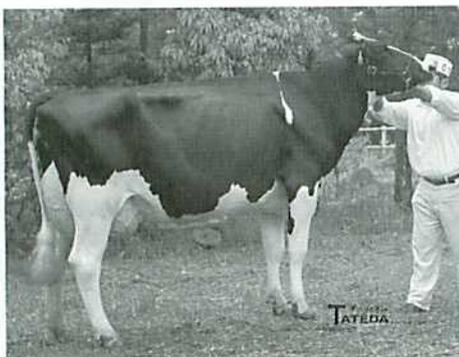
第4部 中川 将
センターリバー シネマ アウテイ



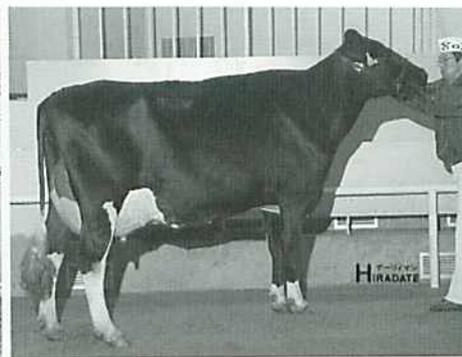
第6部 佐々木昭雄
アースイースト スターバツク レデューク



第7部 櫻井 幸一
チェリーヒル オールド グレイシー パトリシア



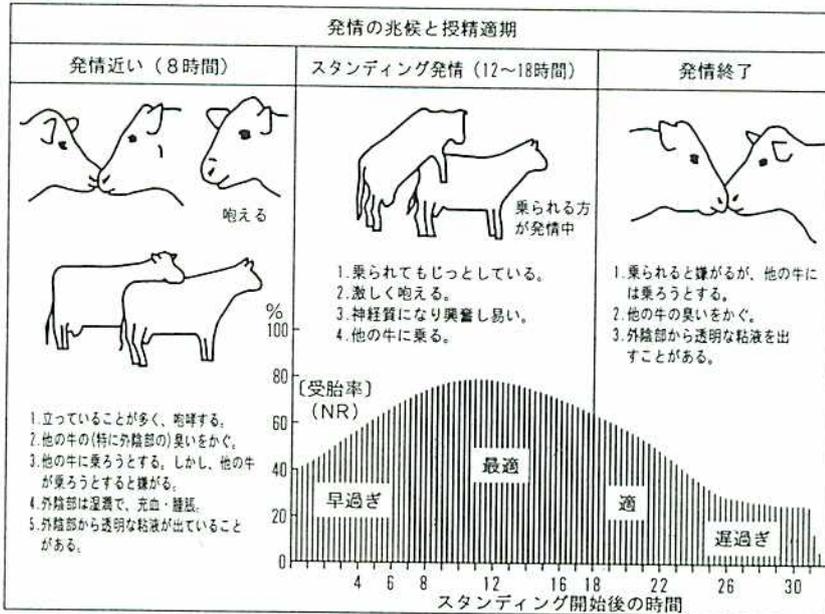
第8部 寺嶋 淳一
ミラー カーネル デューク



第9部 櫻井 幸一
チェリーヒル ジャツキー ミツクス パイン

見つめなおそう！ 発情徴候と授精適期

家畜改良課より



発情の徴候並びにスタンディング発情開始後授精までの時間と受胎率との関係 (ASDELL&BEARDEN, 1959)

- 発情前期(約6~10時間)：** 大声でなく、他の牛に乗ろうとする、陰部が腫れてくるなど
- 発情中期(約12~16時間)：** 瞳孔が開く、乳量が低下する、粘液を出す、他の牛に乗られてもおとなしく立っているなど
- 発情後期(約2~3時間)：** おとなしくなる、粘液は出ているが乗られるのを嫌がるなど

草の収穫もついにはじまりましたが、なかなか晴れてくれない空模様によきもきしていることでしょうか。早く夏らしい青空が見たいものです。

前回は発情観察の重要性についてお話しさせていただきました。しかし最近、「観察はしているのだが発情徴候自体がいまいちよくわからない」、「発情かな?」と思うのだが、いつ授精師を呼んだらいいのかがわからない」などの意見をたまに

聞くことがあります。そこで今回は一度基本に立ち戻って発情徴候のメカニズム、そしてそれにともなう授精適期について書いていきたいと思います。

ひとくちに発情徴候といっても、牛は多種多様な徴候を我々に見せてくれます。しかし、その徴候のなかにはある一定の法則があり、大きく分類して三つ(前期、中期、後期)に分けることが出来ます。それでは具体的に説明したいと思います。

以上のことが主な発情徴候です。皆さんはどの時期に授精師を呼ばれていますか? 一般的にいわれている授精適期は、中期から後期だといわれています。これは人工授精の際、精液中の精子は融解して子宮内に注入されてから数時間(二、三時間といわれています)経過しないと受精能力をえられないため(受精能力は約一、二日もちます)というのと、排卵後の卵子の受精能力(約十二時間)との関係のためです。このことから授精適期は**発情開始から約十二時間後、つまり半日後が良いといわれています**。このことから前回書いたように、発情観察が非常に重要となってくるのです! 一日二回決まった時間に観察するのが理想ですが、観察している際にいつどの時期の発情なのかを把握することが非常に大事なことです。でも忙しい夏場で発情観察に割く時間が少なくなりがちというのも事実、困ったときには我々を呼んでください!

以上のことが一般的な発情徴候、授精適期のメカニズムです。しかしながらすべてが今回のようなきれいな徴候をみせるとは限りません。なかには徴候をみせないで排血してしまうもの、弱い徴候が延々と続くものなどがあるのも事実です。そういう牛は**早期に発見し我々にみせるか、獣医さんに治療してもらいましょう!** 今回のことを参考にして、繁殖成績を向上させていきましょう!

牧草収穫時期にあたり、天気情報を平成十五年六月二十一日からFAX情報箱に入力しています。情報は、一日二回発表されます。

☆午前六時発表

短期予測…当日六時から翌日二十四時までの三時間単位の天気・気温・風・雨量を予測。
週間予測…六日先までの天気・気温・風・雨量を日単位で予測。

☆午後六時発表

短期予測…当日十八時から翌日二十四時までの三時間単位の天気・気温・風・雨量を予測。
週間予測…七日先までの天気・気温・風・雨量を日単位で予測。
また、天気図も提供されます。
予測ポイントには中標津と俣落の二カ所です。

★予測期間

平成十五年六月二十一日～九月二十日

★天気情報の取り出し

- ①「オンフック」キーを押す
- ②ワンタッチキー「07」中標津、または「08」俣落を押す
- 「ファクシミリ」のスタートボタンを押して下さい」と音声がかんこえる
- ③「スタート」キーを押す

★天気図及び台風情報

- ①「オンフック」キーを押す
- ②ワンタッチキー「06」を押す
- ③「9532#」天気図、または「9533#」台風情報を押す
- 「ファクシミリ」のスタートボタンを押して下さい」と音声がかんこえる
- ④「スタート」キーを押す

※この期間以外は、天気情報が情報箱9530#に入力されますので、ご活用下さい。

組合員、地域に必要な農協の存在

組合長談話



中標津町農協組合長
高橋 勝義

組合員ご家族皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

現下、一番草収穫最盛期を迎えており日々、多忙を極め精を出しているものとご推察しております。

さて、私共の第五十六回農協通常総会開催にあたり、多くの組合員の出席を賜わり、提出議案一号～九号まで原案通り承認をいただき、盛会のうちに終了出来ました事に心より感謝とお礼を申し上げます。

十四年度を振り返りますとBSE対策と組合員の営農、生産に影響を最小限に食い止めるか、不安をどう解消するか、全力を注ぎながら農協全体としても危機感を強く持ち、対応に追われた感がありますし、南出参事が病いに伏して以来、治療に専念しておりましたが、十一月十三日帰らぬ人となり残念無念の一言でありました。改めてご冥福を祈るのみであります。さぞかし十四年度決算の心配と、全う出来ない悔しさを思うと万感胸につまります。

そうした経過の中で懸案だった加工施設の完成をはじめ、農協総体の事業も順調に推移をし、計画を大幅に上回る剰余金を計上する事が出来ました。これも偏に組合員をはじめ、多くのご利用いただきました皆様のご協力、お力添えと改めて敬意と感謝を申し上げます。

組合長という重責を担って四年経過しましたが、あまりにも多くの課題、処理に四苦八苦の事が多く、時として悩むこともありましたが、つと励まされ力の支えを信じつつ来れた



気がします。今後共十五年度へ向けとも、より一層付託にこたえるため努力をしてまいる覚悟であります。

農業環境、農協のあり方など各方面で議論が活発に行われております。従来の考え方、組織の原点など見直し、改革が求められております。当農協が今後どう運営、方針を示していかなければならぬのか、今年開催されるJA大会、WTOの行方などを踏まえ、第五次農業振興の答申を踏まえ、皆様へお示しをしてまいりたいと考えております。いずれにしても農協が組合員、地域にとって必要な存在として評価されてこそ、あり続けるものとの思いで、精一杯努めさせていただきますので、ご指導、ご支援をお願い申し上げます。最後に大変多忙な中で収穫作業が順調に終えます様願って、お礼のあいさついたします。

春先より好天、雨不足といった時期もありましたが、本格的な時期の今日この頃ですが、天候不順でもあり、気をもみながらの作業と私共も安定した天候回復を願っているところです。

将来、農業振興・地域活性化に活躍する担い手を。

●第2回担い手創出協議会総会開催

六月十六日(水)に担い手創出協議会総会が、中標津町農協中会議室で開催されました。

総会の議題として、①平成十四年度事業報告並びに収支決算について、②平成十五年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について、③役員を選任について提出し、原案通り承認さ

れました。

昨年度においては支援基金を創設し、組合員、関係団体、農業関連会社などより多大な支援金のご協力をいただいております。御礼申し上げます。

本年度は支援対象者第二期生を募集し、ルーキーズカレッジ(座学研修)を十月より、一期生の高度研修、

二期生の基礎研修を開催予定としております。

この協議会の研修などにより、将来の中標津町の農業振興及び地域活性化に寄与する担い手として活躍されるよう、協議会としての取り組みをして参りたいと考えております。

今後とも皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

け、終了しました。

優れた農業経営、意欲的な取組みの農家後継者として表彰。

北海道農業担い手育成センター
平成14年度新規就農優良農業経営者表彰式

北海道農業担い手育成センターによる、平成十四年度新規就農優良農業経営者表彰式が六月三日(火)、中標津町役場町長室において行われ、今回、奨励賞として中林忠雄さんの二男誠司さんと、藤田清さんの長男晋さんの二人が新出実町長より表彰されました。

新規就農優良農業経営者表彰事業は、優れた農業経営や意欲的な取組を行っている就農後おむね十年以内の新規就農者、農家後継者に対して表彰されるもので、誠司さんと晋さんは中標津町農協の優れた農家後継者として北海道農業担い手育成センターに推薦され、道内の並みいる推薦者約三十件の中から奨励賞として受賞しました。

道内で受賞をされた方は最優秀賞一人、優秀賞四人、奨励賞四人で、表彰式は最優秀賞と優秀賞の方については、札幌の北海道農業担い手育成センターにおいて行われ、奨励賞の方については地元で行われました。新出実町長より、「この表彰を機にさらに営農に励んでいただきたい」との激励を受



藤田 晋さん



中林誠司さん

共計でん粉5月末販売状況

平成14年産共計でん粉は、5月末仮配累計1袋当り、1,122円(前年同期1,466円)となっています。販売進捗率は51.2%で前年度から見ると12.3%少なく、数量では、14,453袋の減となっています。

販売状況は、全体的に低迷し安価なものの流通は一部見られます。

でん粉市況

単価:円/袋(25kg)

馬鈴しょでん粉(産 倉)	1,875(2,125)~3,125(3,125)
馬鈴しょでん粉(東京倉)	2,075(2,325)~3,450(3,450)
輸入化工でん粉(東京倉)	1,625 ~1,750
コーンスターチ	1,500 ~

()は前年同期

アイドル IDOL



食べることが大好きな遠藤家待望の アイドル! あゆ菜ちゃん!

本格夏到来! 農繁期に突入した今月の人気者は、俣落地区・遠藤洋志さん宅・長女・あめ菜ちゃんです。

お昼寝直前のご機嫌ダウン気味の時間でしたが、精一杯取材に付き合ってくれました。

丁度今月、一歳の誕生日を迎え、少し前から伝い歩きを始めたというあゆ菜ちゃんの毎日を覗いてみました。

そのきゃしゃな体格からは想像もつかないほど、いたって元気そのものというあゆ菜ちゃんは、病気らしい病気どころか、家族中が風邪をひいても、あゆ菜ちゃんだけは元気っ子。天気の良い日はお家の周りを散歩して、猫ちゃんやワンちゃんにご挨拶したり、最近のお気に入りごとは、パチンコ「ひまわり」のコマーシャルに反応して踊っているんだとか(照子おばあちゃん曰く、パチンコに反応するのは血筋だとか?…笑)。

それから、ママの麻由さんと二人、親子で競って食べるほど大好きなサクラランボをはじめ、食べることが大好きで、好きな物は指を指し、嫌いな物は絶対口に開けない程、意思表示するというあゆ菜ちゃん。その愛



くるしいお顔に似合わず、意志が固いところもあるのね。そんなあゆ菜ちゃんの将来について尋ねると、パパは「アイドルにさせるよ!」などと言って家族中の笑い話になっているという話の一方で、ママは「健康で、明るく、元気な子に育ててくれれば…」と現実的なお答え

をいただきました。あゆ菜ちゃんが生まれてからの遠藤家は、あゆ菜ちゃんペーアの生活となり、照一おじいちゃんをはじめとした家族みんながあゆ菜ちゃんフィーバー! そんな家族の溢れる愛情を一身にうけて、あゆ菜ちゃん! 輝く素敵な女の子になってね。

遠藤あゆ菜ちゃん

2002年7月9日生
遠藤洋志・麻由さん夫妻の長女
として生まれる。

農家経営

夏を健やかに

北根室地区農業改良普及センター



腸炎ビブリオ食中毒に注意しましょう

夏は気温や湿度が高く、細菌による食中毒が多発する時期です。その中で最も多いのが「腸炎ビブリオ」による食中毒です。

一、どうして食中毒になるの？

① 腸炎ビブリオは海水中にいる細菌です。海水の温度が上がると急激に増え、魚介類に付着します。

② 腸炎ビブリオが付いた魚介類を室温に放置すると菌が増殖し、これを食べると食中毒が発生します。

③ 魚介類を調理した包丁やまな板、手などは、腸炎ビブリオが付着している可能性が高いといえます。これらを洗わないで別の食品を調理すると、その食品に菌が付いて増殖し、食中毒を起こす場合があります。

二、予防のポイント！

細菌性の食中毒予防の三原則は、菌を「つけない」「ふやさない」「やっつける」ですが、魚介類を刺身や

お寿司で食べるときは、「やっつける（加熱）」ができません。

刺身やお寿司を調理するときや食べるときは、次のことに気をつけてください。

① つけない（清潔）

ア、腸炎ビブリオは真水に弱いので、魚介類の下処理では水道水などの流水でよく洗いましょう。

イ、魚介類の下処理に使うまな板や包丁は専用にして、他の食品と区別して使いましょう。

ウ、冷蔵庫などで保管するときは、他の食品と接触しないよう、ビニール袋に入れたり、ラップを

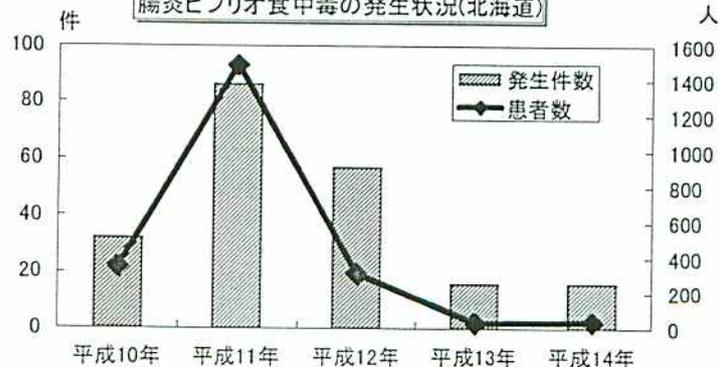


② ふやさない（迅速・冷却）

ア、菌の増殖のスピードが速いので、室温放置は避けましょう。買い物の後は、早く冷蔵庫に入れます。

イ、4℃以下では菌が増殖できないので、冷蔵庫内の温度の低い場所で保管しましょう。

腸炎ビブリオ食中毒の発生状況(北海道)

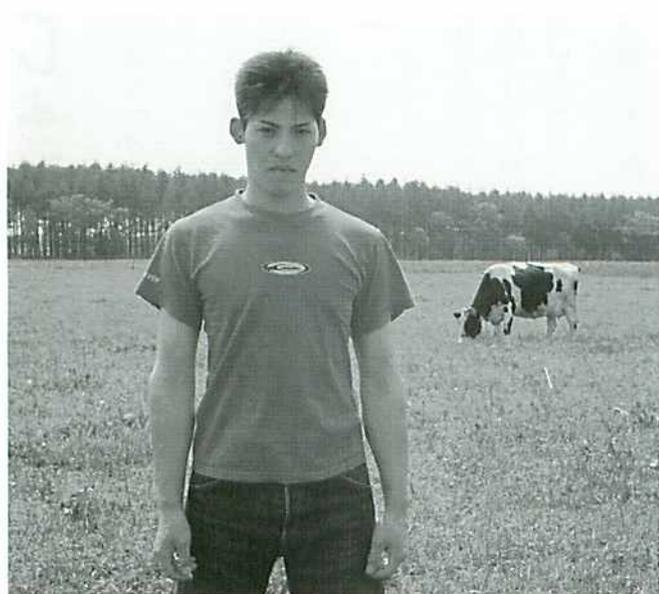
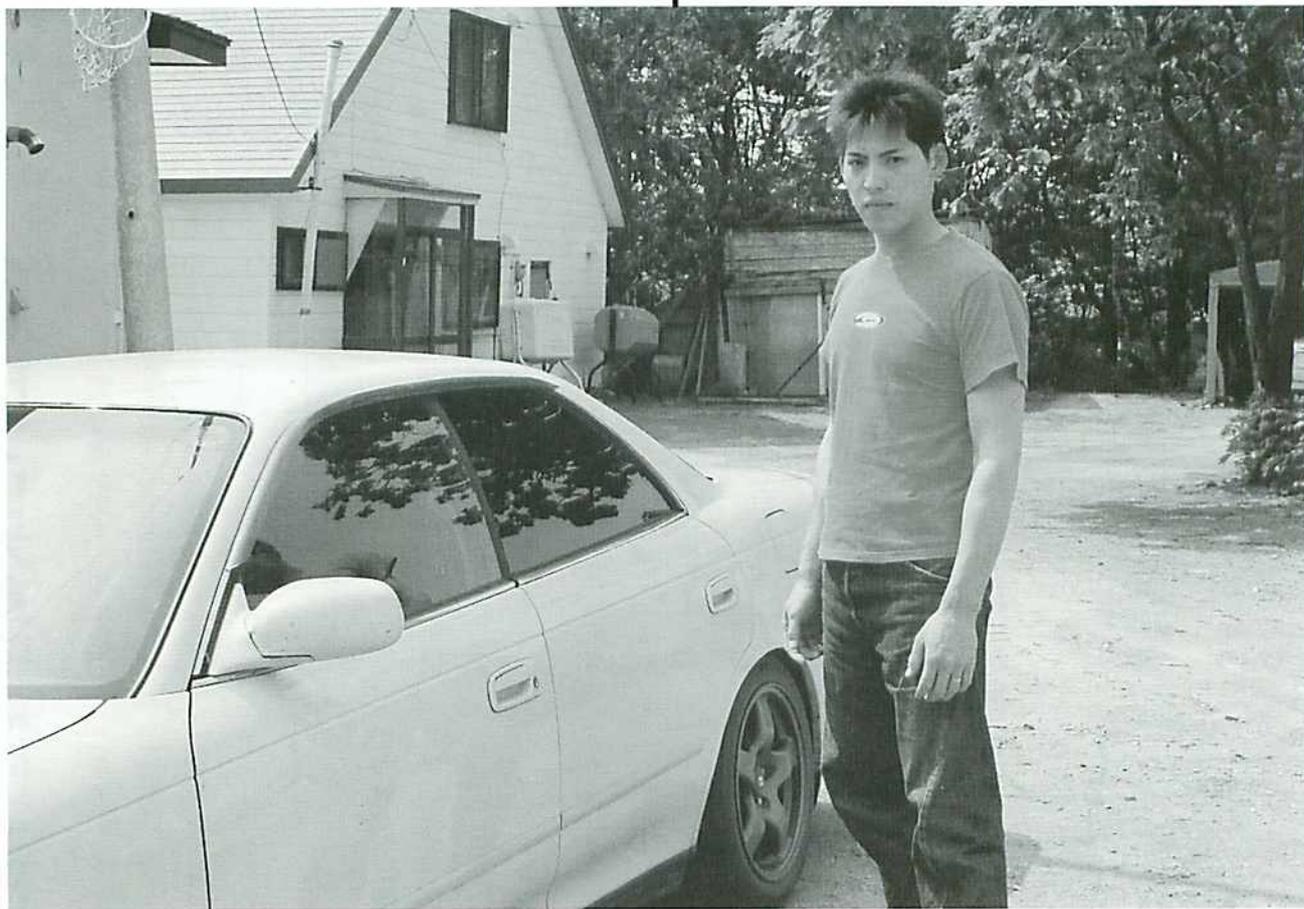


かけたりしましょう。



農協青年部・青年ヘルパー・ ルーキーズカレッジと積極的に 活動しています。

依橋地区 高嶋敦志さん(24歳)



今回ご紹介するのは、依橋地区の高嶋敦志さんです。

中標津高校を卒業後、イセキ北海道に入社しました。五年ほどイセキでの働きを経て現在に至っています。

現在、農協青年部、青年ヘルパー、ルーキーズカレッジと積極的に活動しています。

趣味は？ と聞くと、釣りと体(バレエ)を動かす事で、バレエは小学校の頃から始め、今は社会人チームで週二日、町体育館などで活動しています。

今後の目標は「規模拡大と乳質を良くすること」と答えてくれました。目標に向かって頑張ってください。

(青年部農政・組織研究委員会 山本 大)



青年部
上ヶ島利春

俣落地区の上ヶ島利春です。

私の農場は早くに父を亡くしており、労働力が皆さんの所より少ないので省力化で作業出来る事が重要となって来ました。現在は繋ぎ牛舎で給餌場（自動給餌システム）にて、育成牛も経産牛も飼養管理できると言ったスタイルで日々の作業を行っています。

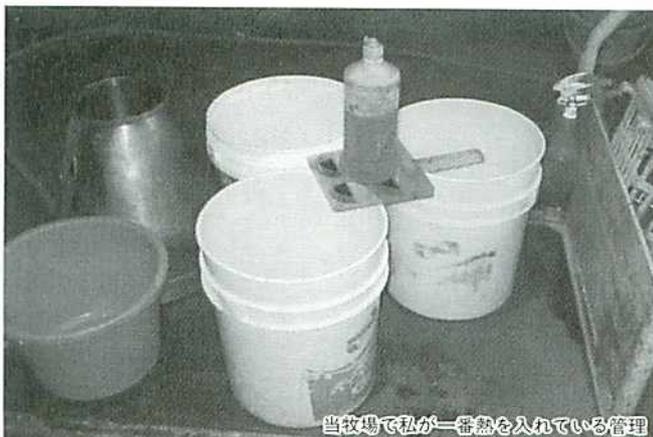
今までの経験から、世の中で良いとされている技術をなるべく早く自分のものとし、日常の当たり前の作業にすることが重要なポイントとなります。この事は、若い青年部員の良きお手本となるよう私も益々努力し、更に良質乳生産を行って行くことを宣言いたします。

牛乳生産は私のためでもあり、それに携わる人のためでもあり、消費者のためである！

	平成14年度 現状	平成15年度 目標
生菌数	0.3	0.1
最重点目標◆ 体細胞数	14.3	現状維持
F%	3.94%	4.00%
SNF%	8.60%	8.80%
P%	3.15%	3.20%
全固形	12.54%	12.80%

この写真は、私が搾乳時に使用している搾乳ワゴンと搾乳アイテム一式です。搾乳する際に良いとされる技術を取り入れる時にワゴンは必須アイテムです！

環境性乳房炎予防のために、プレディッピングを行い高い効果が得られました。また、この事を行うために牛体の衛生管理が重要な事に気付き、十分注意を払っております。搾乳する際「触りたくない・汚い・面倒だ」と言う状態をなるべく作らず、シンプルにまた、遊びの時間を割かないように今後も努力して行きます。



当牧場で私が一番熱を入れている管理

第3弾 宣言

青年部新人
小沼 孝



私は、武佐地区の有限会社小沼牧場で働いている孝です。

この仕事を選びもう5年目になりましたが、まだまだわからない事だらけの未熟者なので、うちの農場だけでなく、今年から入った青年部の人達の話などを聞いて学び、研修して頑張っていきたいと思えます。

乳質は、牛の状態をよく観察し、トラブルなどを早期発見し、常に健康でいられるようにいろいろと研究して、更に品質の良い牛乳を生産して行く事を誓います。

	平成14年度 現状	平成15年度 目標
生菌数	0.2	0.1
最重点目標◆ 体細胞数	16.6	15.0
F%	4.05%	現状維持
SNF%	8.75%	〃
P%	3.17%	〃
全固形	12.80%	〃

自分の担当は、育成管理がメインです。施設が充実し、月齢ごとの管理が一貫して管理できるシステムとなっております。

また、ほとんどの仕事が機械で行えるようになって来たので、その効率化された分を牛の観察などに使えるようになりました。自慢の施設です。



当牧場で私が一番熱を入れている管理

全道結婚相談
研究協議会

パネラーで
高橋組合長

農村環境への新しい風・ 結婚後のホロー対策に力を。



北海道マリッジ・カウンセリングセンター主催による、全道結婚相談研究協議会が六月十九日（二十日、札幌市道民活動センタービル）で開催され、高橋組合長がパネルデイスカッションでパネラーとして出席しました。

北海道マリッジカウンセリングセンターは、昭和三十九年に設立され、結婚・家庭・人生相談、出会いの場づくりなどの悩みに対するカウンセリングや、教養を豊にするための各種研修などの講座を開催しているNPO法人。

今回は全道から結婚対策を担当する農業委員会、相談員約百人が参加し、「女性に農村を理解してもらうには」をメインテーマに、家族・文化・風習などの環境整備をどう考えて行くかについてデイスカッションが行われました。

この中で高橋組合長は、町結婚対策協議会と連携の中での出会いの場作り、青年の積極性を引き出す教育、結婚後のホロー対策など、JA中標津農業後継者結婚対策協議会での事業活動内容を紹介。特に最近の結婚事情の中で、道外、町外から嫁ぐお嫁さんの農村環境への新しい風を期待すると共に、そのお嫁さんに対するホロー対策が組織、地域の中で必要不可欠と話されました。



農繁期前のパークゴルフで、英気をやしないました。

●JA中標津・JA計根別合同酪農実習生交流会

JA中標津（十六人参加）とJA計根別（九人参加）合同による、酪農実習生交流会が六月十七日に計根別正美公園にて行われました。

JA計根別と合同での交流会は昨年に行っています。

当日はあいにくの曇り空となっていました。午前中はパークゴルフを行いました。ゴルフ場には先客も無く貸切り状態。パークゴルフをするのが初めての実習生もいたようで、遠くまでボールを探しに行つてコースを迷ってしまったたり、なかなか思うように打てずにはいたようですが、ゆつくりと楽しみながらコースを廻っていたようです。午後は焼肉を囲みながら、日頃あまり会うことの少ない実習生同士の交流を深め、農繁期前の楽しいひとときを過ごしました。



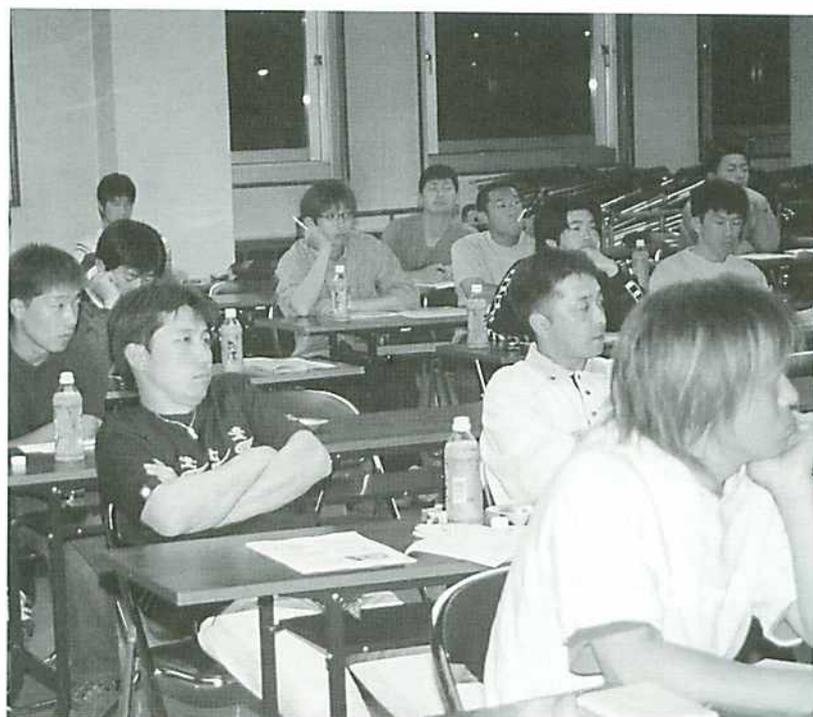
一人ひとりが努力して 乳質向上を目指していこう。

青年部農政・組織研究委員会 藤原 智樹



六月十七日に、青年部農政・組織研究委員会が主催で、サン電工の廣野氏を迎え、「送風機の視点からの牛舎の環境改善」をテーマに勉強会を開催し、換気によって牛舎内の環境や、牛に対するストレスを防ぐ事が出来ると言う大変有意義な時間を過ごしました。

また、後半には酪農課の長瀨氏が、青年部員に対して乳質の説明と改善をわかりやすく話してもらい、「私達青年部一人ひとりが努力して良質牛乳を生産する事によって、農協全体の乳質が向上する」と強く強調していました。最後に、この様な機会を増やして経営向上に努めてほしいです。



一生懸命さが伺えました。 ●農水、JA全中事務担当者との意見交換会

青年部副部長 西垣 努

六月十二日、トーヨーグラนด์ホテルにて農林水産省、JA全中事務担当者との意見交換会が行われました。

今回は、中標津の受入れはありませんでした。交換会では多くの意見が交わされ、参加した三役員も少々時間が足りないような感じでした。

今回、実習に入った担当者の方たちも、現場の事はあまりわからない様子ながらも、一生懸命さが話の中からも伺え、今後、益々頑張ってくれることを期待します。



女性部
宿泊研修
旅行

恒例の女性部宿泊研修旅行が、六月十七日〜十八日の日程で行われ、二十二人の部員が参加しました。今年は、一泊二日札幌の旅となり、牧草収穫前の一時を都会札幌で過ごしました。



心もお腹も満たされた 札幌の旅



初日、中標津空港より札幌丘珠空港へ一っ飛びし、すぐさま団体ご一行で公共交通機関を乗り継ぎ、まずは、パンの博物館HOKUOで博物館見学、パンバイキングでお腹も満たし、続いて石屋製菓チョコレートファクトリーへ。ここでは、今回のメインでもあるシュガークラフト体験を行いました。作品は、ベビッシュユーズで、色と飾りのデザインをそれぞれが選び、少し下げぎみの眼鏡の奥から目を細めながら、細かい指先の作業に挑戦し、思い出に残る作品を仕上げました。ここでもまた、甘いデザートで心とお腹を満たし、

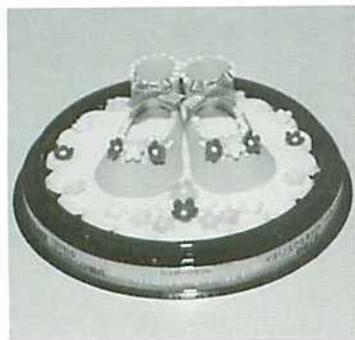
ホテルへチェックイン。夕食大宴会前の少しの空き時間を、昼寝やマッサージ、買い物などで夜の充電をしていたとの情報も…。

さて、夕食はススキノへ向かい、道産新鮮素材とアルコールで!? ガソリン補給し、エンジン全開となりました。その気持ちの現われか!?

二次会は半数以上が「ゲイバーに行きたい!」と、盛り上がり一同ススキノの奥地へ。我が身より綺麗なお姉さん(男)達に感心し、すばらしい社会見学となりました(笑)。

二日目は、飛行機出発時間まで、数グループに分かれて、バラ園に行く人、ショッピングに行く人、話題のJRTタワーに行く人など、それぞれの札幌を思う存分楽しみ、視野向上、社会見学という目的は果たされました。

さあみなさん! 鋭気を養った分繁忙期の農作業に精を出して下さいね! そして来年も、大腕を振って旅行に参加しましょう。



「酪農」の正しい理解を求め グリーンツーリズム関連施設を見学。

●女性部フレッシュミズ日帰り研修旅行



押切牧場オーナーご夫妻を囲んで

見学させていただこうと、晴天の下、バスは出発しました。

最初の視察先は、トレーラーハウスを購入・利用してファームインの経営をしている押切牧場で、ハウス内の見学はもちろん、始めるきっかけなどお話を伺いました。

二件目の視察先は、自家生産・地場農畜産物などを素材として利用したファームレストラン「ファームデザインズ」を経営している海野牧場で、デザート付きの昼食をいただいた後に、オーナーの思いや、生活サイクルなど詳しく伺いました。

さて最終の視察先は、チーズ工房を作り、農家チーズの生産、販売をしている大友牧場で、当日、チーズの製造日となっていた為に、窓越しから中の様子を見学させていただきながら、製造などに関する概要を聞きました。

三件ともきっかけは、営農・牧場経営の傍らで、生活及び営農の変化と心の「満足度」、更には「酪農」の正しい理解を求め、負担なく楽しんでほしいとの一心だという刺激あるお話を聞くことができ、参加した部員らは有意義な一日を過ごしております。

六月九日、フレッシュミズの日帰り研修旅行が行われ、十二人が参加しました。

今年、浜中町方面の酪農家・グリーンツーリズム関連施設三カ所を視察



秋まで彩りと香りを届けます。

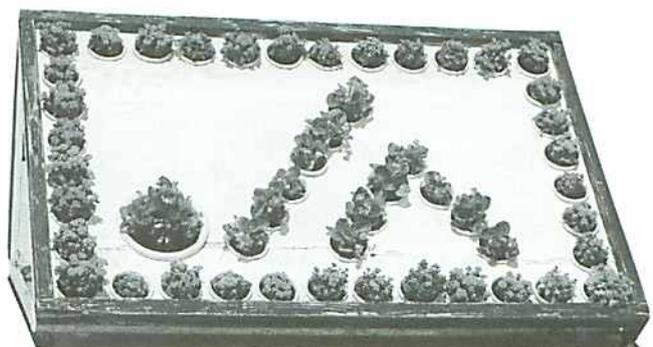
●女性部農協事務所周辺環境整備作業

六月十六日、快晴の下で、農協事務所周辺の環境整備作業が行われ、十三人の役員らが参加協力いたしました。

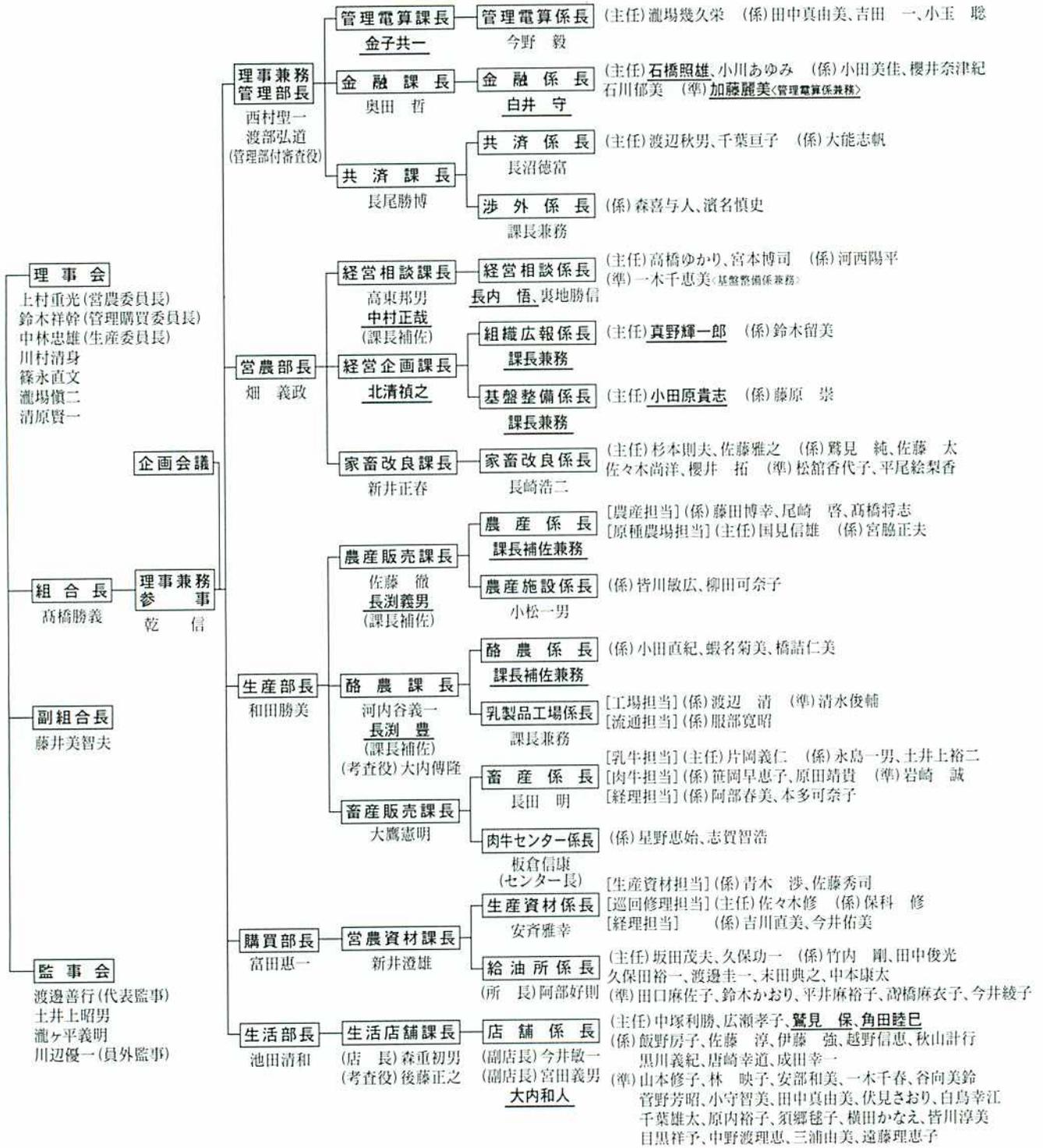
今年も斜里町・佐々木種苗さんよりご厚意でいただいた苗を、事務所前花壇、パネル、駐車場周辺、交流施設花壇に丁寧に植え込みました。

ペコニア、サルビア、アゲラタム、パンジーなど、鮮やかなその彩りは秋までの数カ月、事務所を訪れる人や、通りがかりの人々の目と心を和ませてくれることでしょう。

参加された部員の皆様！お疲れ様でした。



機構図と職員配置図



	男	女	合計
理 事	15名	0名	15名
監 事	4名	0名	4名
役員合計	19名	0名	19名

	男	女	合計
正 職 員	90名	21名	111名
準 職 員	4名	26名	30名
職員合計	95名	92名	187名

太字=異動・昇格者

※理事に職員兼務2名を含む

第三回理事会の経過

開催日時 平成十五年六月六日

〈決議事項〉

一、各種資金の借入申込について

〈協議事項〉

一、地区別懇談会の主な意見について

二、特定組合員の今後の営農について

〈報告事項〉

一、休農に係わる清算見込について

二、経営状況に関する事項の報告(修正後)について

三、農業者年金の運用状況と付利通知について

二、新理事体制の職務分担について
三、平成十五年各理事の報酬額の決定について

四、行政庁への業務報告書の提出について

五、役員退任慰労金の支給方法及び支給時期について

六、事務所屋上防水補修工事にかかる固定資産取得について

七、部門専門委員会の委員及び委員の選任について

八、関係機関及び関係組織への委員・役員の選任について

〈協議事項〉

一、第二十三回JA全国大会にかかわる組織討議について

二、役員視察研修の実施について

〈報告事項〉

一、平成十五年度各監事の報酬の配分について

二、平成十四年度中央会(全国監査機構)監査報告について

第五回理事会の経過

開催日時 平成十五年六月三十日

〈決議事項〉

一、平成十五年信用供与等限度額の決定について

二、平成十五年貸付金利率の最高限度の決定について

三、平成十五年度余裕金の預入先の決定について

四、平成十五年度購買及び店舗手数料の決定について

五、平成十五年度販売手数料及び利用料金の設定について

六、内部審査規程の一部改正について

七、非常勤理事の使用人兼務の決定について

八、全国酪農業協同組合連合会への増資について

九、共済課車輛更新に伴うリース契約締結について

十、資材店舗及び電気室の屋根修繕について

十一、農協有バルククーラー等貸付事業の固定資産取得について

十二、固定資産(スチールコンテナ)の処分について

十三、各種資金の借入申込について

十四、農協有家畜排せつ物運搬等機械の今後の導入及び運用計画について

十五、平成十五年度生乳計画生産の取進めについて

〈報告事項〉

一、飼料貯蔵施設工事の実施状況について

二、JA中標津総合共進会の結果について

三、糞尿散布機導入に伴う農協スラローリー・堆肥運搬車の対応について

四、馬鈴しょ運賃価格交渉について

五、緊急酪農生産基盤改善支援対策事業(交配事業)の取進めについて

六、緊急優良経営後継牛資源確保対策事業(三万円事業)の実施について

七、生乳生産状況について

八、死亡牛の検査状況及びBSE疑似患畜の範囲について

九、肉牛販売価格の推移及び飼養動向について

十、新作物プロッコリーの栽培について

十一、給油所の事業概況について

6月の組合日誌

- 5日 第1回企画会議
6日 青年部情報交流、消費拡大合同委員会
第3回理事会
10日 第56回通常総会
11日 第4回理事会
第3回青年部農政組織研究委員会
13日 中標津町農協総合共進会
16日 担い手創出協議会総会
第3回青年部情報交流委員会
17日 青年部勉強会
18日 中標津農業高校受入式
農地あっせん会議
第4回青年部役員会
19日 固定資産監査
20日 第3回伯爵まつり実行委員会
25日 第2回熟年会役員会
第1回管理購買委員会
第2回企画会議
26日 第2回生産委員会
第3回営農委員会
氷上高校実習受入式
30日 第5回理事会

懐しき古き一枚の写真



昭和25年～35年ほどの間、綿羊を数匹飼育していたところはけっこうありました。今のようにジンギス汗にして食べるのが目的ではなく、家族の防寒用衣料として毛を重宝した時代です。

今のように住宅も暖熱材などなく、板1～2枚の壁だけで、いくら薪ストーブを燃やしても、後ろが寒く、衣・食・住全てに不足していた頃でした。

写真提供 藤井 弘美氏